

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	上信越高原国立公園・志賀高原指定70周年記念事業
事業主体 (連絡先)	山ノ内町 下高井郡山ノ内町大字平穏3352番地1
事業区分	(5)環境保全、景観形成
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,478,600円 (うち支援金: 800,000円)

事業内容

上信越高原国立公園が指定を受けてから70周年の節目を迎えることから、町では関係者で組織する実行委員会へ各種記念事業を委託し、国立公園志賀高原エリアの認知度の向上、町の観光PR等を実施。

- ・新宿御苑「国立公園フェア」出展
令和元年5月18日(土)・19日(日) 3名参加
- ・国立公園指定70周年記念チラシ作成
5,000枚のチラシを作成し、新宿御苑等で配布
- ・上林温泉から地獄谷野猿公苑に向かう遊歩道に樹木や動植物に関する外国語表記を含めた解説看板を製作し、設置。
設置日 令和元年11月7日(土) 17名参加

事業効果

- ① 1日約10,000人の来訪がある新宿御苑内への出展により、観光PR、町内特産品のPRを広く行うことができた。
- ② 地獄谷野猿公苑に行くことが主目的の遊歩道に、お客様に歩きながら自然景観を満喫してもらえるようになった。
- ③ 山ノ内町外国人宿泊数が前年より7.9% (R2.3.18現在)増加している。関係者等の努力の積み重ねに寄与するところが大きい。今事業が国立公園の認知度向上、地域の盛り上げに貢献した。

今後の取り組み

新宿御苑「国立公園フェア」について、今年度出展したところ大変好評だったことから、令和2年度においても出展させてもらえるよう環境省と協議を行っており、継続して国立公園志賀高原エリアの認知度の向上、町の観光PR等を実施していきたい。

ゆみち遊歩道に設置した解説看板や樹名プレートは、設置箇所で立ち止まり、写真を撮る等の観光客の姿を見かけることも多くなり、今後も関係者と協力のもと、身近にある新たなコンテンツ等も掘り起こしながら、国立公園内の自然環境や景観整備事業を継続的に進めていきたい。



【樹名プレート取付けの様子】

【目標・ねらい】

- ① 国立公園の認知度向上
- ② 自然環境・景観の整備
- ③ 観光客の増加

※自己評価【 B 】

【理由】

- ・指定70周年を契機に地域や観光をより活性化していこうという機運が高まった。
- ・外国人観光客宿泊数が大幅に伸びた。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある